

2025 4/8

No.2232

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
—神奈川政経懇話会—



第97回選抜高校野球大会が3月、甲子園球場（兵庫県西宮市）で行われ、横浜高校が19年ぶり4度目の優勝を果たした。春夏では通算6度目V。写真は開会式で入場する同校選手たち。



視点描	3
「予知」と「予測」の違い	
講演録	4
名将が語る今年の高校野球 元横浜高校野球部監督 渡辺 元智	
特集	8
早期リタイアしたい! 20・30代の若者 FIRE願望強まる 人生設計に変化	
政治双眼鏡	12
「参院選まで石破」で利害一致 即政局にならない与野党の事情	
水谷竹秀×リアルワールド	13
比前大統領が指揮した暗殺集団	
かながわTODAY	14
3月の主な経済ニュース	

事務局だより

◇2025年5月定例講演会
5月7日(水)午後1時30分～3時
メルヴェーユ（桜木町・県民
共済プラザビル内）
講師：有隣堂代表取締役社長
松信 健太郎氏

◇2025年6月定例講演会
6月19日(木)午後1時50分～3時
ロイヤルホールヨコハマ（中
区山下町）
講師：ライター・コラムニスト
稲田 豊史氏
※1時30分から同会場で当会
決算総会を開催する予定です。

◇2025年7月定例講演会
7月15日(火)午後1時30分～3時
県民共済みらいホール（桜木
町・県民共済プラザビル内）
講師：横浜国立大学台風科学
技術研究センター長
筆保 弘徳氏

【お知らせ】 神奈川政経懇話会では、会報「政経かながわ」に会員企業の新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな会員情報を掲載しています。掲載の問い合わせなどは事務局 ☎045（226）2121。

視点 点描



「予知」と「予測」の違い

「〇年×日に南海トラフは起こる」「MEGA地震予測の危険エリアを発表」。ネット空間には、地震を「予言」するさまざまな言説が飛び交う。

地震雲に電磁波、GPSなどの地殻変動データ、魚の大量死…。根拠もまた多様だが、「的中した」と手法の精度をアピールする向きもある。

抵は的中するのである。

気象庁はウェブサイトで「情報としての価値はあまりない」と否定的な見解を示した上で、こう説明する。「少なくとも『一週間以内に、東京直下で、マグニチュード6～7の地震が発生する』というように限定されている必要があるが、現在の科学的知見からは、そのような確度の高い地震の予測は難しい」

一方で政府は、南海トラフ巨大地震の今後30年以内の発生確率を80%程度と公表。昨夏には南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)を初めて発表した。発生時期などを絞り込んだ「予知」はできない

としながらも、長期的な視点の「予測」は公的機関からも出されているのが現状だ。

真偽不明、解の読めない情報があふれる中、地震の発生リスクをどう見極めるか。

3月に神奈川県が発表した地震被害想定では、関東大震災級の巨大地震「大正型関東地震」による犠牲者は災害関連死を含め約2万9千人に上ると推計された。

この地震の30年以内の発生確率は「ほぼ0～6%」である。南海トラフよりは低いものの、だからといって身構えずにいられるだろうか。まして、関東大震災は実際に起きた「未曾有の災禍」だ。県内各地が壊滅的な様相を呈し、犠牲者は東京なども含め10万5千人余りに上った。

「地震はいつ起きるか分からない」。言い尽くされた言葉だが、油断して深手を負うことは避けたい。そう考えて備える人が増えれば、被害を減らすことは不可能ではない。空振りも覚悟しつつ、「Xデー」は近いと思うほかない。

(神奈川新聞社報道部長

渡辺 渉)